

こんにちは 豊前市議会です

7月4日に豊前市で開催された
九州周防灘地域議会連携協議会の様子 (詳細は12ページに掲載)



6月定例会(6/6～6/22)主な内容



目次 CONTENTS

議案の概要	2P
平成28年6月定例会 議案審議結果	3P
一般質問	3～11P
トピックス・編集後記	12P

議会へのご意見をお寄せ下さい

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-1111 内線1311
ホームページ/<http://www.city.buzen.lg.jp>



議案の概要

平成28年第3回定例会は、6月6日から6月22日までの17日間の会期で開催されました。

本定例会には市長より条例8件、予算3件、その他の案件1件の合わせて12議案が提案されました。それぞれ所管の常任委員会で審査され、議案10件については原案どおり可決されました。また、議会運営委員会より条例1件、市長より人事案件2件が追加提案され、いずれも原案どおり可決、同意されました。

同意案件

市長の提案に対し、全会一致で同意しました。
(敬称略)

■固定資産評価員
豊前市大字青豊
石橋 正昭

■固定資産評価審査委員
豊前市大字中村
宮崎 信人

し尿処理に関する補正予算案を否決!!

豊前市は、汲み取り回収したし尿を、築上町とみやこ町で組織する豊前広域環境施設組合の施設で処理していますが、老朽化のため平成24年12月に長寿命化計画を策定し改修に向け取り組んできました。しかし、処理方式・構成団体の混迷により、今年度末に築上町が、来年度末にみやこ町が組合から脱退することとなり計画が頓挫したため、市長より、下水処理場に流し込んで処理するための調査基本設計費553万円の補正予算案が提案されました。

これを受け、付託された文教厚生委員会で審議した結果、委員より「市は、地元(八屋地区)からの確認書への回答が不十分であり、数年来地元への説明がなく、ないがしろにしている」や「地元への話が進んでいない。補正予算を計上する前に地元に説明し、了承を得てから計上すべき」「吉富・上毛町と協議をする場を早急に設けるほうが先」「今のままで、この予算は全く役に立たずに終わるのでは」などの意見が出て、委員会での採決の結果、全会一致で否決となりました。

本会議場で、文教厚生委員会での審議内容について委員長より報告があり、議員より「一部事務組合より構成町が離脱している。しかし、執行部は施設のため最大限努力することが使命であり、この議案は緊急かつ必要な案件である」といった賛成討論や「再三再四、地元や吉富・上毛町と協議をするよう求めてきたが、動きが悪く成果が全くあがっていない。まず先に地元と協議し了解をとる。吉富・上毛町等に公式に訪問し、一緒に事業実施できるよう協議の場を作るべき」といった反対討論があり、議員全員による採決の結果、賛成少数により否決となりました。

企業誘致に向けた条例を制定

豊前市では、工場敷地の有効活用や設備投資を促進し、市内経済の活性化を図ることを目的に、工場立地法第4条の2第2項に基づき国の基準に代えて適用する市の準則条例を定めました。主に工業の用に供する区域内に立地する特定工場(注)の緑地面積率等の緩和を行いました。

(注)特定工場とは…敷地面積9,000平方メートル以上又は建築面積3,000平方メートル以上の製造業(物品の加工業を含む)、電気供給業(水力、地熱、太陽光発電所を除く)、ガス供給業、熱供給業を営む工場のこと

1. 緑地面積及び環境施設面積の敷地面積に対する割合

区域	条例制定前(全国一律の基準)		条例制定後	
	緑地面積率	環境施設面積率	緑地面積率	環境施設面積率
準工業地域	20%以上	25%以上	10%以上	15%以上
工業地域、工業専用地域			5%以上	10%以上
上記以外の区域			20%以上	25%以上

2. 緑地が他の施設と重複する場合の緑地面積への算入割合

地域準則条例の制定により、建築物の屋上に設置された緑地や緑化駐車場など、他の施設(生産施設や駐車場等)と重複して設置された緑地の算入割合については、市内全ての区域において、確保すべき緑地面積の100分の50まで算入できるようになりました。

平成28年6月定例会 議案審議結果

「○」……賛成 「●」……反対
「議長」……議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	黒江哲文	平田精一	鈴木正博	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	古川哲也	尾澤満治	爪丸裕和	磯永優二	賛成	反対
議案第34号	豊前市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12 0
議案第35号	豊前市職員の給与に関する条例の一部改正について	修正可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12 0
議案第36号	豊前市乳幼児・こども医療費の支給に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12 0
議案第37号	豊前市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12 0
議案第38号	豊前市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12 0
議案第39号	豊前市工場立地法地域準則条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12 0
議案第40号	専決処分について（豊前市税条例等の一部改正について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12 0
議案第41号	専決処分について（豊前市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12 0
議案第42号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12 0
議案第43号	専決処分について（平成28年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算 第1号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12 0
議案第44号	豊前市長専決処分条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12 0
議案第45号	専決処分について（平成28年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算 第1号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12 0
議案第46号	平成28年度豊前市一般会計補正予算（第1号）	原案否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長	1 11
同意案第2号	豊前市固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12 0
同意案第3号	豊前市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12 0

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい 『平成豊明会』の一般質問



【質問項目】

- ① 市政運営の方向性
- ② 防災対策
- ③ 社会福祉
- ④ 観光問題
- ⑤ 高齢者対策
- ⑥ 男女共同参画推進のとりくみ
- ⑦ 農業問題
- ⑧ し尿処理と公営企業（上下水道）の運営
- ⑨ 公設民営化と施設整備事業のあり方

※ ここに掲載している質問

のやり取りは、ごく一部です。

詳細については、市のホー

ムページに全文を掲載してい

ますので、そちらをご覧く

ださい。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いており

ますので、お気軽にご覧く

ください。

ますので、お気軽にご覧く

事業と予算の考え方を 市長に問う

が、このような増額となつた。

黒江議員 市の財政状況、事業への投資額について市長はどのように考えていくのか、市民はとても関心と疑問を抱いているようだ。平成26年度決算では経常収支比率95・8%となり、非常に厳しい財政の中、27・28年度に向かうどのような注意を払ったのかお尋ねする。

市長 まさに年間予算120億円の中で、投資的に使える部分は3億円ほどである。何もしらないという選択もあるが、このまま放置するのもつと厳しい状況になるという危機もある。その中で限られた予算を可能性のある事業に集中して投資することにあえて挑まなければならぬのではないか、そのような考えのもと市政運営をしてきたつもりである。

黒江議員 これから行政は民間の経営感覚が重

要であり、戦略次第で栄えるか、倒産するかと方向性が左右され、経営者には責任が問われる。そこで先日オーブンした「うみてらす豊前」について質問する。当初と比較し、総事業費が約1億5500万円増加したが、この大幅な増額に対して、市長はどのような感覚、意識を持っているか伺いたい。

市長 予測しなかつた人件費、資材費などの急騰、また工事に入り地盤の問題などがわかった。そのため一生懸命減額に取り組んだ



うみてらす豊前

練をすることが目標なので、引き続き自主防災組織の強化と併せて推進していくべきだ。

黒江議員 しかしこのようなことが何度もあったから困る。当初の予算をオーバーした場合、範囲内で組み替えるべきだと思うが、市長の考えを伺いたい。

市長 この施設が停滞しないで、海辺の活力を取り戻すパワーになるように思ふ。中途半端なことをするより、やるべきにはきちっとやると決断した次第である。

黒江議員 市民は大切な税金に対して、市長の政策、予算の使い方について、とても心配をしているということを伝えたい。市民のため、市の活性化のためしっかりと頑張っていためしかりと頑張っていたい。共に結果を出すために頑張りましょう。

平田議員 豊前市全域での防災訓練は終わつたのかお聞きする。

総務課長 平成24年から各地域で防災訓練を開始し5年目を迎えている。しかし、横武、黒土、千束、山田及び八屋の一部がまだ未実施である。

平田議員 今回の熊本地震は全く想定外であったと思う。これを教訓に、早急に訓練を終わらせていただきたい。また自主的に防災訓練を行う団体をつくっていくべきと思うがいかがか。

総務課長 校区ごとの訓練が終わつたら、それぞれの地域が主体となり訓

熊本地震を教訓に 早急な防災対策を

ような中で我々議員も有志が集まり、九州北東部議員連盟を立ち上げている。その勉強会で、北九州市を中心に大きな圏内で話し合いながら、ボランティアや防災対策、援助や支援ができるならといふ話があつた。そのような取り組みについての考え方を伺いたい。

平田議員 避難場所といふのは確実に安全な場所ではないといけないので、早急に対策をしていただきたい。防災対策については近隣の市町村と連携して考えていく必要がある。

総合政策課長 連携協約の中に災害対策も設けられている。今後は広域的な観点から、具体的な取り組みを都市圏ビジョンに盛り込んでいきたい。

平田議員 ぜひ前向きに検討していただきたい。

豊前市は北九州市都市圏域連携中枢都市圏の連携協約締結をしたが、その



男女共同参画推進の取り組みについて

郡司掛議員 私は豊前市のまちづくりに女性の視点で提言したい。男女共同参画推進の取り組みについて、まずはハートピアぶぜんの位置づけと、館長の一般公募について考え方をお聞きしたい。

生涯学習課長 平成23年度よりハートピアぶぜんを男女共同参画の拠点施設として位置づけ、運営を行っている。ただ、施設の運営が生涯学習課、そして男女共同参画事業の実施が人権男女共同参画室と別の部署になつていることもあり、今後検討すべき課題であるといふふうに認識をしている。

教育長 現時点では館長の任期が後2年あるので、この間に関係課と協議をし、必要によっては公募、あるいは男女共同参画について見識の深い人を探したいと考えている。

郡司掛議員 次に「豊前市特定事業主行動計画」の目標値と取り組みについてお聞きする。時間外勤務時間20%縮減はあるが、どういう内容かお尋ねしたい。

総務課長 恒常的な時間外勤務は職員の健康を害し、働く意欲を退化させる上、子育てをする職員の重い負担になる。また心身に深刻な影響を及ぼすことがある。そのため事務の簡素化、合理化により効率よ

36人中9人が女性であり、25%を達成しているところである。これを5年後に30%となるよう努力していきたい。

郡司掛議員 その他すべての項目は職員同士の理解が必要であり、限られた職員数でどう取り組むか、人事配置などがとても難しくなると思うが、前向きな取り組みをお願いしたい。



○働く男女は対等なパートナー

く仕事をしていくということで削減を行いたいと考えている。

郡司掛議員 管理職の女性割合を30%という目標を掲げているが、現状をお聞きしたい。

総務課長 現在、管理職

36人中9人が女性であり、25%を達成しているところである。これを5年後に30%となるよう努力していきたい。

郡司掛議員 その他のすべての項目は職員同士の理解が必要であり、限られた職員数でどう取り組むか、人事配置などがとても難しくなると思うが、前向きな取り組みをお願いしたい。

農林水産課長 人・農地プランに位置づけられた担い手に、農地の集積、集約



生産基盤の整備推進に力を

鈴木議員 農業従事者の高齢化が深刻な問題となつており、田園集落では、ため池、農道、水路、耕作放棄地等、地域の環境問題になりつつある。

特に10号線より北側地域は基盤整備も遅れ、耕作地の維持管理が難しく、多くの農家が将来に不安を抱いている。そこで、後継者、耕作者の問題を根本的に解決する生産基盤の整備が残された地域について、どう対策していくのか考えをお聞きする。

鈴木議員 三毛門東部では高齢化と耕作者の減少から、多面的機能支払制度を利用し作業を行ってきたが、今年度で最終年となつており、田園集落では、ため池、農道、水路、耕作放棄地等、地域の環境問題になりつつある。特に10号線より北側地域は基盤整備も遅れ、耕作地の維持管理が難しく、多くの農家が将来に不安を抱いている。そこで、後継者、耕作者の問題を根本的に解決する生産基盤の整備が残された地域について、どう対策していくのか考えをお聞きする。

となる。来年はもう出来ないだろうというのが大勢の意見である。大きな理由は、提出書類と手続の煩雑さである。これは他のグループも抱える共通の問題と聞いています。そこで、事務手続きについて市の担当が代わりに出来ないかお聞きしたい。

農林水産課長 現在も1人の担当職員を配置し、重点的に作業を進めていく。今後とも、このような作業を進めるとともに、国、県へ資料の簡素化を要望していきたいと思う。

鈴木議員 未整備地区に

もう一度基盤整備を呼びかけ、制度を活用し維持管理が長続きできるようにしていただきたい。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成豊友会』の一般質問



【質問項目】

- ① 治安問題
- ② 観光問題
- ③ 高齢者対策
- ④ 尿処理
- ⑤ 湾岸道路
- ⑥ 教育問題
- ⑦ 土地強制化計画
- ⑧ 市営住宅の諸問題
- ⑨ 市長の市政運営
- ⑩ 広域行政

※ ここに掲載している質問

のやり取りは、ごく一部です。

詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

安心・安全への対策を

三毛門駅在所についても、再度、設置の検討をすべきと思うがいかがか。

総務課長 御指摘のとおり、三毛門地区の刑法犯の件数が増加傾向である

秋成議員 三毛門地区の世帯数が増えているといふ話を聞くが、他の地域と比べ人口減少率や高齢化率が低いのかお尋ねしたい。

総務課長 人口の推移について、国勢調査の結果が出ていないので、住民台帳で豊前市全体の人口動態を10年前と比較す

ると、他の地区に比べ三毛門地区の人口減少率は緩やかなものになっている。また、宅地分譲等が市内で最も進んでいる地域であり、高齢化率も他地区より低い状況である。

秋成議員 三毛門地区は子育て世代に人気のエリアであり、若者の定住が見込める地域である。今後、地域住民と防犯対策をどのように講じていくと考えているか伺いたい。

人化により駅周辺がたまり場となり防犯対策が問題になった。その後、駅舎の維持管理や防犯への取り組みを区長会に依頼し、地域一体で取り組んでいるところだ。

秋成議員 地域の人の力だけでは、防犯対策に限界があるのでないかと不安がある。特に近年、

三毛門地区は、若い世代に人気のエリアであり、地域ぐるみで見守る必要があると感じている。そこで、大規模な駐在所の統廃合により廃止された

トロールの重点化などを取り組みを希望していきたいと考えている。

秋成議員 地域の防犯・治安に対する今後の考え方、取り組みをお聞きしたい。

市長 住民の生命・財産を守るというは、最大の責務であるので、駐在所の設置要望については、出来る限り努力をしていきたい。



豊前警察署

総務課長 三毛門駅の無

なるよう判断したところである。

近隣の町と手を携え 1日も早く生活イン フラの整備を

福井議員 平成28年4月8日付の新聞で、みやこ町が平成30年3月末に豊前広域環境施設組合を脱退すると報道された。その理由として、液肥や下水道につなぐといった処理方法が示され、行き先が見えないところがあつたとある。同組合長の市長の思い付きでなく、構成団体にとって最善な施策を模索したのか、お尋ねしたい。

平成26年度
豊前広域環境施設組合
運営費分担金 (単位:円)

豊前市	134,786,000
築上町	53,816,000
みやこ町	119,966,000
合計	308,568,000

市長 私の時代になり、方向転換した。液肥化、公共下水道への流し込みと常に市民や市の財政などを勘案し、市の利益にならないか確認したい。

市長 私からアポイントを取つて、町長室に行つて話をしたことはない。

福井議員 万が一、豊前市単独でし尿処理施設を運営した場合、市の負担が著しく増えると思う。

市長 液肥化が不可能と

た方が互いに経費も減つていいのではと思う。そこで、平成27年11月20日の同組合の臨時会で、両町の加入に関して、組合長(市長)自ら出向きお願いすると決議がなされているが、公式に出向いてお願いしたのか伺いたい。

福井議員 もし単独になつた時は市長の責任問題である。人が生きていく上で、ごみ・し尿・上水・下水という処理施設は大変大事なことだと思う。だからこそ、近隣の町と手を携え、お互いの住民のためにも一日も早く、良い施策が出来るように、市長に強くお願ひする。

鎌田議員 し尿処理施設が老朽化し、大規模な補修整備が必要な時期を迎えた。基幹設備のみを更新して15年程度の延命化を図る長寿命化にするか、もしくは施設をぎりぎりまで使って全面更新にするか、平成23年から協議を重ね、平成24年12月に長寿命化に計画決定をした。その後、環境大臣に提出し、正式に受理された。平成25年4月に後藤市長が就任され、豊前広域環境施設組合長を兼任、議論に参加すらしてなかつたにもかかわらず、計画を一方的に廃止にしました。そして、液肥化の方針を一方的に廃止にしました。市民にどう説明するのかお聞きしたい。

鎌田議員 市長は責任が取れないのであれば、安易に政治生命という言葉を使うべきでないと思う。最後に、いたずらに時間を費やし、余計な費用がかかり、もらえるはずの補助金がもらえなくなり、地元にも協議せず、不信感をもたれ反対に回るかもしれない状態になつてゐる。一刻も早く解決をしてもらいたい。

福井議員 吉富町・上毛町も施設建て替え時期に来ているので、一緒にした方が互いに経費も減つていいのではと思う。そこで、平成27年11月20日の同組合の臨時会で、両町の加入に関して、組合長(市長)自ら出向きお願いすると決議がなされているが、公式に出向いてお願いしたのか伺いたい。

財務課長 今、負担が増えることは財源的に非常に厳しいことだと思つてお願意したのか伺いたい。

鎌田議員 し尿処理施設が老朽化し、大規模な補修整備が必要な時期を迎えた。基幹設備のみを更新して15年程度の延命化を図る長寿命化にするか、もしくは施設をぎりぎりまで使って全面更新にするか、平成23年から協議を重ね、平成24年12月に長寿命化に計画決定をした。その後、環境大臣に提出し、正式に受理された。平成25年4月に後藤市長が就任され、豊前広域環境施設組合長を兼任、議論に参加すらしてなかつたにもかかわらず、計画を一方的に廃止にしました。そして、液肥化の方針を一方的に廃止にしました。市民にどう説明するのかお聞きしたい。

鎌田議員 みやこ町が液肥化はだめだと言つてゐるのに、「農林水産大臣が大丈夫と言つたものを流

すのが悪い」というのが私は分からぬ」等の信頼関係を損なう発言をするなど、広域行政を運営する長としては考えただきたい。また、液肥化に拘り環境型社会の形成にあらゆるところで政治生命をかけて私はやるんだと支持者に言つてい

信用を取り戻し 一刻も早く解決を

鎌田議員 みやこ町が液肥化はだめだと言つてゐるのに、「農林水産大臣が大丈夫と言つたものを流すのが悪い」というのが私は分からぬ」等の信頼関係を損なう発言をするなど、広域行政を運営する長としては考えただきたい。また、液肥化に拘り環境型社会の形成にあらゆるところで政治生命をかけて私はやるんだと支持者に言つてい

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成新世会』の一般質問



岡本 清靖



尾澤 満治



内丸 伸一

- ④ これから豊前市を
- ③ 安心して住める豊前市を
- ② 教育問題

【質問項目】

- ① 環境施設問題

- ② 教育問題

- ③ 安心して住める豊前市を

- ④ これから豊前市を

※ ここに掲載している質問

のやり取りは、ごく一部です。

詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

生活環境課長 平成27年

地元や近隣自治体への説明をしつかりと

きる態勢がとれず、十分な対応が出来なかつたことにお詫びしたい。

内丸議員 地元では「屎処理施設はいらない」や「他地区に持つて行ってくれ」などの意見が出ている。地元の了解なくして環境施設の存続はあり得ないとと思うが、市長の考え方を伺いたい。

内丸議員 環境施設問題について、一般質問初日より何度も質問項目として出しているということは地元をはじめ、議員や市民の皆さんのが心が高いということである。そこで、環境施設であるごみとし尿処理施設の運営の組みについて伺いたい。

内丸議員 今回の件で地元議会は平成27年10月に確認書案を作成し、市に提出したが回答がなく

6月に一部事務組合の局长が協議会に参加して説明をしているが、その後は何もない状況である。

内丸議員 今回の件で地元議会は平成27年10月に確認書案を作成し、市に提出したが回答がなく

催促することで回答を得た。しかし回答内容が不十分であり、地元をないがしろにしているとしか思えない。執行部の考え方を伺いたい。

内丸議員 ごみやし尿処理について、施設の更新や構成市町に変更がある場合は地元協議会との協議となっているが、今回件で地元と協議をしたのかお聞きしたい。

内丸議員 政治生命をかけるつもりで、市長自ら誠意を持って地元や近隣自治体に対して説明や説得をし、市民が安心して生活できるようお願いしたい。

市長 組合議会の承認が得られず、また説明がで

上町は平成29年3月末に、みやこ町は平成30年3月末に脱退の予定である。

内丸議員 ごみやし尿処理に関して、施設の更新や構成市町に変更がある場合は地元協議会との協議となっているが、今回件で地元と協議をしたのかお聞きしたい。



豊前広域環境施設組合

安心して住める 豊前市を

ある。

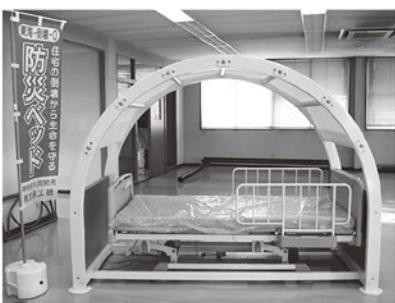
尾澤議員 運転免許証を返納すると、代わりに運転経歴証明書の交付を受けられる。この証明書は免許証と同じように身分証として使えるもので、これを提示することで市バスの割引等のサービスを実施してはと思うがいかがが。

総務課長 県内では、自主返納によりバスの回数券などを交付しているところが9団体あると聞く。現在、バス事業の再編に向けた会議を行つており、そこで近年、高齢者ドライバーによる交通事故が増加傾向にあり、運転免許証の自主返納を促進するため全国でさまざま特典が受けられると聞く。豊前市においても特典があるのか伺いたい。

尾澤議員 また、先日の熊本・大分の地震において、住宅が倒壊し多くの

尾澤議員 今後、豊前市が生き残るために、市が安心して住めるまちになることが重要と思う。そこで近年、高齢者ドライバーによる交通事故が増加傾向にあり、運転免許証の自主返納を促進するため全国でさまざまな特典が受けられると聞く。豊前市においても特典があるのか伺いたい。

総務課長 豊前市では返納者に対して住基カードの無料交付という制度を設けている。しかし、この住基カードもマイナンバー制度に移行し、その使途が限られているため、実質、特典はない状況で



防災ベッド

人が被害に遭われた。しかし、住宅の耐震補強には多額の費用がかかり、なかなか進んでないと聞く。そこで、ベッド型シェルターである防災ベッドを豊前市鉄工協会が窓口となり取り扱っていると聞くが、市としてこれに對して支援等はできないのかお聞きしたい。

総務課長 市は昭和56年以前建築の木造住宅に対して耐震補強工事の一部を県の補助金を活用して助成している。しかし、この助成も申請が少なく周知できていない状況である。今年度はこの活用を積極的に推進したいと考えており、防災ベッドについては県に紹介し、補助対象にならないか交渉したいと思う。

しかし、中山間地では高齢化が進み担い手が減少しており、その農業を継続的に続けるためには営農組織の立ち上げや生産の効率化が重要と思うが、執行部の考え方を伺いたい。

副市長 その点は中山間地だけでなく豊前市全体が抱える農業の問題だと認識しており、特に稼げる農業を行なわないと、担い手も育たないと思う。農協や生産組合と協議し、稼げる農業を推進したいと考えている。

岡本議員 中山間地で農業をするためにはシカやイノシシの駆除が重要と思うが、執行部は対策を

中山間地の 農業振興に向けて

どのように考えているのかお聞きしたい。

副市長 中山間地で農業を行なう上で有害鳥獣駆除は非常に重要な案件であると認識している。しかし、駆除対策が後手になつていている部分があるので、猟友会や地域の人と協議し、駆除対策をしっかりと行つていただきたいと考えている。

岡本議員 また、中山間地では田んぼの畦畔の管理が負担になっていると聞かれて、先日の農業新聞に地被植物を法面に植えることで雑草の生育を抑制できるという方法が載っていた。これを利用することで草刈り等の負担軽減になると思うがいかが。

市長 議員説明の方法はほ場整備後すぐであれば効果的であるが、雑草が根を張ったところでは効果がでないと聞く。一部の地域ではアジサイなどの花を植え、景観をよくしているところもある。何をするにも地域の協力が必要であり、どのようなことができるのか、地域との話し合いの場が必要と考える。



一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい



爪丸 裕和

『無会派』の一般質問

① 指定管理と補助金

※ ここに掲載している質問

のやり取りは、ごく一部です。

詳しくは、市のホームページに全文を掲載してい

ますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いており

ますので、お気軽にご覧ください。

事業内容の検証を

しっかりと

理化という意味でも近隣の社会福祉協議会と合併を考えていかがかと思うが、執行部の考えをお聞きしたい。

副市長 社会福祉協議会

爪丸議員 社会福祉協議会の予算書を見ると500万円程度増額になった事業があるが理由を伺いたい。

健康長寿推進課長 昨年度より生活困窮者への自立支援事業が始まつたためだ。

爪丸議員 この事業は昨年度、減額補正をした上で社会福祉協議会に委託していると思う。この経緯を前任者である藤井課長に伺いたい。

総合政策課長 この事業に関しては、効率的な運営と経費削減の観点から県が依頼している事業所と協議を行つたが、協議が整わず直営でのスタートとなつた。ただ豊前市単独での業務を含めて再度検討した結果、1月から社会福祉協議会への委託となつたところだ。

爪丸議員 市が補助金を出している団体については、事業の中身を検証し、提言すべきところはしっかりと提言をお願いしたい。

「社会福祉協議会」とは？

社会福祉法に基づきすべての都道府県・市町村に設置され、地域住民や社会福祉関係者の参加により、地域の福祉推進の中核としての役割を担い、さまざまな活動を行っている非営利の民間組織である。

活動内容としては、各種の福祉サービスや相談活動、ボランティアや市民活動の支援、共同募金運動への協力など、全国的な取り組みから地域の特性に応じた活動まで、さまざまな場面で地域の福祉増進に取り組んでいる。

爪丸議員 昨年度は社会

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無会派』の一般質問



古川 哲也

【質問項目】

- ① 定住自立圏の現状と今後
- ② 豊前市の施設問題
- ③ 豊前市長として近隣自治体や広域事業への対応や方針

※ ここに掲載している質問のやり取りはごく一部です。

詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

信頼関係構築に向けた取り組みを

古川議員 豊前市は昭和30年に発足し、歴代の市長や議員の皆さん方が知恵を絞り、汗を流することで今のものができている。我々は今、その上で生活をしている。現在、豊前市は京築の市町と広域事業を実施しているが、他の自治体の長とのような関係を築きたいのか市長の所見を伺いたい。

市長 昨年6月の事件發生以来、私自身大きな責任を感じていた。消防長など職員3人が5月に懲戒処分となつており、1年のけじめということでおらを処分した次第だ。

古川議員 今定例会では多くの議員からし尿に関する質問があつた。この件に関しては、後藤市長が市長になつてから3年で一部事務組合が解散状態になり、関係団体との信頼関係が崩壊したため

古川議員 豊前は小さいが市である。市として誇りを持ち、地域のリーダーとして広域圏を守っていていただきたい。そのためにも、ここは頭を下げ信頼関係を構築し、より良い圏域を作ることをお願いしたい。

古川議員 先般、新聞報道で、市長が広域消防の管理者を辞任し、みやこ町の町長に引き継いだことが終わってからの辞任であればわかるが、いま時

だと考える。また、地元住民も疑心暗鬼になつており、先達の人たちが汗をかき、知恵をしぼつて構築したもののが崩れようとしている。このことは市民の利益を損なうことだと思うので、もう一度原点に返つて信頼関係の構築をお願いしたい。



全国市議会議長会表彰

磯永優二議員(議長4年表彰)、山崎廣美前議員(副議長4年表彰)が、5月31日に東京で開催されました第92回全国市議会議長会定期総会におきまして、市政の振興に努められた功績が認められ、表彰されました。



山崎廣美前議員
(副議長4年表彰)

磯永優二議員
(議長4年表彰)

九州周防灘地域議会連携協議会を豊前市で開催

経済・観光・医療を中心に各自治体の行政全般及び共通する課題について情報交換を行い、各自治体の発展・繁栄に寄与することを目的に、中津市、豊前市、宇佐市、豊後高田市、築上町、上毛町、吉富町の正副議長で構成されている九州周防灘地域議会連携協議会を7月4日、豊前市において開催しました。

協議会では「市町村議会議員政策形成支援セミナー」や「協議会の今後の取り組み」などについて話し合いを行い、その後の研修会では、(株)はまげんの代表取締役である石谷誠氏を講師に招き「周防灘沿岸の漁業の現状及び『うみてらす豊前』の取り組みについて」と題して講演していただきました。その後、「埋蔵文化財センター」と「うみてらす豊前」を視察しました。



埋蔵文化財センターでの視察風景



うみてらす豊前での視察風景

編集後記

豊前市の現状は、経常収支比率95.8%と財政は厳しく、更に人口減少が予測され、税収減により市民サービス、満足度にも影響を及ぼすことが懸念されています。また、東九州自動車道が平成28年4月に開通し、素通りされると経済にも大きなダメージとなります。いかに豊前市に立ち寄っていただくかが大きな政策課題であります。しかし、厳しく限られた予算での運営となります。そこで、重要なのは「知恵と工夫」「やる気と結果」「予算執行の優先順位」などのきめ細かい能力だと私は思います。

今議会で予算議案を否決しましたが、理由は「計画が具体化されてない。地元と話をしていない。近隣の町にお願いに行ってない!」「予算は安易に執行できない!」「市民の大切なお金なんだ!」と執行部に痛感していただきたいとの強い想いでありました。

今後も議会として「言いっぱなし」ではなく、さらに政策提案能力の向上に取り組み、また、豊前市議会が一丸となって市民の付託に応えるよう努めます。

これからも、変わらぬ御支援のほど宜しくお願いします。

黒江 哲文

次回の定例市議会は
9月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。
多数の方の傍聴をお待ちしています。

●編集 編集委員会
委員長：黒江哲文
副委員長：郡司掛八千代
委員：内丸伸一 秋成英人
古川哲也

●印刷 築上印刷有限会社